

2011.10 OB会北八ヶ岳山行記録

記 鳥切昇治

期 日 : 2011年10月27日(木)~10月28日(金)

山 名 : 北八ヶ岳(真教寺尾根賽の河原・八柱山)

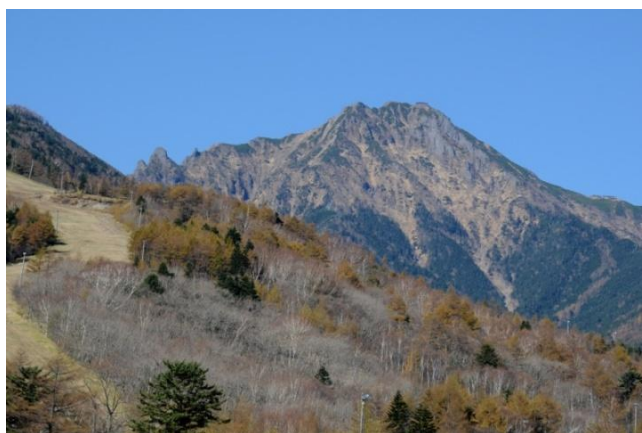
メンバー : (L)大和 義孝(74才) 原 和雄(79才) 小林 茂(78才) 田辺 浩二(74才)
加藤 平二(71才) 鳥切 昇治(71才)

記録

10月27日(木) 天候:晴 横浜・横須賀~清里~賽の河原~ロッジ八ツ嶺

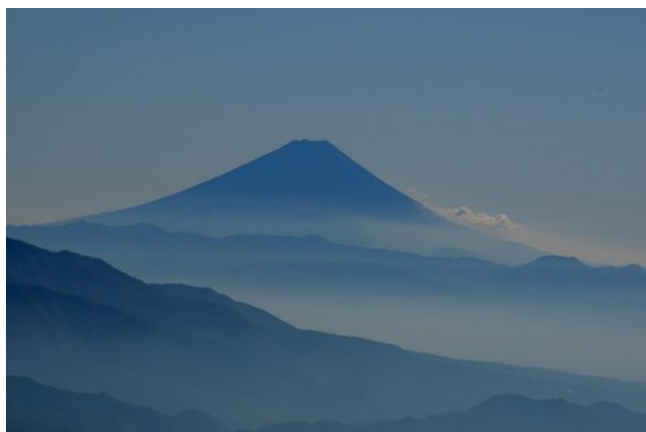
中央道の双葉SAに入ると横須賀組の3人がベンチに座り待っていてくれた。我々は渋滞と中央道の乗り間違えで遅くなってしまった。一息入れてから一緒に清里へ向う。須玉ICで下りて一般道を走る。素晴らしい天気恵まれた。清里で左折しサンメドウスキー場目指して上って行く。

スキー場の駐車場に到着すると、後に富士山が裾野を広げて大きく見え、正面には雪の無いゲレンデの奥に赤岳が見える。景色の良い所だ。レストハウスに寄ってから4人乗りのパノラマリフトに乗り終点まで行く。このリフトの乗車券は往復となっている。下りを歩くので片道券だと良いのに...



サンメドウスキー場から赤岳

リフトから唐松の黄葉と赤岳を眺めながら景色を堪能する。リフトを降りてから少し登ると休憩所があり、そこからの富士山の眺めは最高だった。4分程登ると賽の河原で真教寺尾根牛首の右側に赤岳が聳えている。山頂と肩にあ



リフト終点から見事な富士山

る2軒の山小屋までハッキリ見える。写真を撮ってから唐松林の中を駐車場まで歩く。残念ながら唐松の落葉がサラサラ散ると言う風情は味わえなかったが、熊笹の中の道を分けながら下る。大分下ってから下草が刈り込まれた所に出た。防火線のような。草刈りの作業員が数名休憩していた。我々もここで大休止とする。



賽の河原で(バックは赤岳)



林の中をスキー場の駐車場まで下る

に行くので諦めて戻り、左側の沢の堰堤を渡って藪漕ぎしてスキー場に出た。そこはもうリフト乗場に近い所だった。

車に戻り今宵の宿「ロッジ八ツ嶺」に向う。カーナビに導かれて松原湖付近を通って上って行き、眺めの良いレストハウスに車を乗り入れる。唐松の黄葉と浅間山、金峰山の山並が望める。八千穂高原スキー場の前を通ってロッジ八ツ嶺に到着。

宿泊は我々だけの様である。談話室で良くここに来ていた亀井さんの思い出話や鳥切持参のDVを見て過ごす。夕食後も談話室で過ごす。小林さんの体調が悪そうで気になったが、2部屋に分れて就寝。

コースタイム

大和宅 5:45—鳥切宅 5:55—6:23 田辺さんピックアップ 6:24—横横能見台IC 6:28—8:20 八王子IC—(八王子IC～調布IC～八王子IC)—八王子IC通過 8:41—9:56 双葉SA 10:05—須玉IC 10:16—10:47 サンメドウズ(スキー場)

サンメドウズ 11:11—(リフト)—11:23 リフト終点(休憩所) 11:36—11:40 賽の河原 11:45—(防火線で昼食20分)—13:30 リフト乗場 13:45—(レストハウス休憩 10分)—14:50 ロッジ八ツ嶺

10月28日(金) 天候:晴 麦草峠～雨池～八柱山～ロッジ八ツ嶺～横浜・横須賀

日の出の写真を撮ろうと外に出る。冷え込んだ様で寒い。八ツ嶺橋まで行き日の出を待つ。兎に角寒い。写真を撮って早々にロッジに戻る。

朝食後、平ちゃんの車をロッジのご主人の息子さんに運転して頂き麦草峠へ行く。小林さんは体調が思わしくないと言う事でロッジに残る。麦草峠の少し先に公衆トイレがある駐車場まで送って頂く。雨池コースの入口は、麦草峠の方に少し戻ってから入る。入って直ぐ茶水池がある。氷が張っていて霜柱も長かった。シラビソ林の中の木道を歩く。朝日が射し込んで杉苔や水苔が光って見える。

防火線を下って行くと防火線が終り、道が無くなってしまった。右下の熊笹に覆われた道らしき所を歩いて道を探す。スキー場と反対の方向



防火線で大休止



茶水池の氷・霜柱と雨池への木道



シラビソ林の中を歩く

池に出た。水は少ないが景色の良い所だ。雨池の水と水辺の岩、木々の深緑とダケカンバの白、熊笹の浅緑、ナナカマドの赤い実などのコントラストが青空に映える。思わず深呼吸する。



ここが雨池

八柱山にヒョッコリ飛び出した。黄葉の唐松林の木の間から富士山が見える。浅間山も良く見え



八柱山山頂

静かで木道を歩く足音だけが聞こえる。休憩をはさんで小一時間程で大河原峠林道に出た。ずっと林の中だったので太陽が眩しい。林道を少し歩く。平ちゃんが鼻血を出したのでビックリする。雨池への標識を右に入る。木道を辿ると雨



大河原峠林道の雨池への道の分岐

雨池から右手の林に入る。緩く上ってからダラダラと下って行く。再び上って行くと標識がある

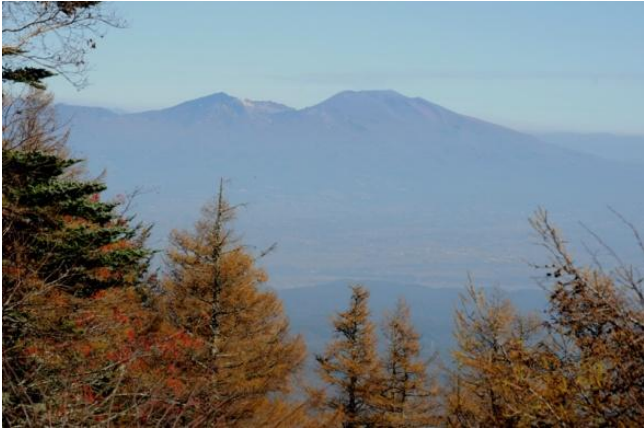


八柱山へ最後の登り

る。早いが昼食にする。八柱山の標高は2114mだが、2000mを超えている山には思えない。

記念撮影をしてから八柱山を後にする。唐松林の中を下って行くが結構急で平ちゃんがヘイコラしている。それに引き換え最高齢の原さんの元気の良いこと。

小一時間程で再び大河原峠林道に出た。林道を下る。ロッジのご主人から聞いていたショ



八柱山から浅間山

ロッジに戻ると小林さんが元気な顔で迎えてくれた。大和さんに宿の精算をして頂き、ロッジを



ロッジ八ツ嶺入口

コースタイム

ロッジ八ツ嶺 8:06—8:22 麦草峠(駐車場) 8:25—茶水池 8:30—9:36 大河原峠林道—10:00 雨池 10:12—10:53 八柱山(昼食) 11:15—12:09 大河原峠林道 12:20—13:09 ロッジ八ツ嶺
ロッジ八ツ嶺 13:45—14:30 ? 滝見の湯 15:52—(給油)—16:40 須玉IC—16:50(双葉SA休憩)
17:20—相模湖IC 18:18—横横港南台IC 20:09—田辺宅 20:35—鳥切宅 21:00—21:10 大和宅

以上

ートカットの近道を三人が通り過ぎてしまい、大和さんに呼び戻される。近道を下りた所は旧国道で、歩いて行くと朝写真を撮りに来た八ツ嶺橋の所に出た。



再び大河原峠林道に出た

後にする。帰路、南相木村の温泉施設「滝の湯」に立ち寄り、汗を流す。

中央道には須玉ICから入り、双葉SAで横須賀組と別れた。我々は相模湖ICで下り、橋本経路で帰って来た。